

音楽の世界で今何が起きている??

阿部 竜之介 『Pepeの視点』

September / 13 / 2024 # 138

Trombone & Euphonium奏者の阿部竜之介(Pepe)です。

このメールマガジンでは、僕から見た今の音楽の世界で起きていること、また演奏に関するヒントなどをお届けしていきます。

またメルマガ内でもいろいろな質問に答えていこうと思っていますので、どんどん質問してきてくださいね！

INDEX

- [1] 旬な話題、気になる話題
『阿部トリオ発表会、無事終演』
 - [2] Pepeのひとりごと
『つながり』
 - [3] 演奏のヒント！
『真似る』
 - [4] 編集後記
-

[1] 旬な話題、気になる話題

『阿部トリオ発表会、無事終演』

8月18日（日）、僕たち姉弟による「阿部トリオ」の発表会を、地元の愛媛県松山市にて無事に行うことができました。

僕たち3姉弟はみんなEuphoniumを演奏していて、昔からたまに阿部トリオとしてピアノの発表会などで演奏をしていました。

この夏、姉のアリサ（もう30年近くフランス在住）が長い期間日本に来るということで、この機会にまた姉弟でアンサンブル吹きたいねえ、という思いから始まり、せっかく一緒に吹くのなら、いろいろな人に聴いてもらいたいよねえ、ということで、発表会という形を取って、これまでお世話になってきた人たちだけを招待して行いました。

結果として、僕たちは姉弟だけではなく家族とも一緒に演奏することができたし（20年近くぶりの共演でした！）、これまでお世話になった人たちとも久しぶりに会えて話をすることもできたし（もちろん演奏も聴いてもらえました）、招待した人たち同士でも久しぶりの再会がたくさんあったようで、みんながハッピーになれる素敵な時間を過ごすことができました！

トリオだけでなく、カルテットなども演奏したのですが、その中で、Dove作曲のEuphonium4重奏曲「Calvary」という曲も演奏しました。

この曲を演奏したのには理由があって、僕がEuphoniumのことを知って、この楽器を演奏し始めるきっかけになったSさん（このコンサートで、初めて一緒に演奏することができました！夢の一つが叶いました）が、中学3年生のときにアンサンブルコンテスト（全国大会出場！）で演奏した曲で、また、その人の恩師である当時の顧問の先生にも発表会を聴きに來てもらえて、いろいろと思い出を共有することができました。

（演奏は、阿部トリオ+Sさんの4人で）

演奏は、楽譜通り、ということではなく、当時の全国大会で演奏したときの音楽づくり、音楽性を尊重して演奏しました。

この曲を知っている人にとっては、これまでに聴いたことのない演奏だったと思います。でも、楽譜通り演奏することの大切さを頭に入れつつも、自由に音楽を作っていく（特に昔の作品は）ということを知ってもらえる良い機会になったのではないかと、思っています。

楽譜通りの演奏が基本ではありますが、それを経験してからの、自分たちの新しいアイデアでの演奏、という流れは大切だと思います。

楽器を演奏している人は、ぜひ試してみてくださいね。

8月18日の発表会の様子は、こちらにアップしています。

<https://www.youtube.com/watch?v=vNkko07WSc8>

興味のある人や時間のある人は、ぜひ聴いてみてくださいね～。

最後に、フランス、東京、大阪に住んでいる姉弟3人が、地元の松山でこうして発表会を開催することができたのは、協力してくださった人たちのおかげです。そして、みんなで幸せな時間を過ごせたのは、忙しい中、時間を作って聴きに來てくださったみなさんのおかげです。

本当にありがとうございました！

[2] Pepeのひとりごと

『つながり』

先日、所属している大阪交響楽団の高知公演があり、久しぶりに高知へ伺いました。

愛媛出身で大阪に来るまで松山に住んでいた僕は、その頃にちょくちょく高知へもオジャマしていて、レッスンをさせていただいていました。

今回の高知公演のときに、コンサート終演後にその頃からのつながりのある方たちといっしょに楽しく美味しく食事を楽しむことができ、翌日にはレッスンをやらせていただきました。

(カツオをはじめ、本当にいろいろと美味しいものを頂きました～！)

翌日のレッスンは、個人レッスンとグループレッソンの両方をして、みんなで楽しく厳しくいい時間を過ごすことができました。

大阪に来る前からよくしていただいて、こうして何年も経ってからでもまた一緒に楽器の練習が一緒にできることって、本当にありがたいし嬉しいです。

レッスンのあとは、受講してくれた人の数人と一緒に美味しいイタリアンでランチも楽しみました。

とっても美味しくって大満足でした～！

でも、なによりこのときにいろいろと音楽のこの話もできたのがよかったです！

いろいろと質問もしてくれたので、今度から、レッスンのときに質問を聞くだけでなく、レッスンのあとにこうして一緒にごはんを食べる機会を作って、そのときに質問を受け付けるのもありだなあ、とも思いました(こっこのほうが質問しやすいようです。笑)。

今回のこの高知での食事、レッスンなども、すべていろいろな人の助けによって実現することができました。

ありがとうございました。

またぜひ近いうちに高知へも伺いますね！！

[3] 演奏のヒント！

『真似る』

今回は、「真似る」ということについて。

「学ぶ」ということは「真似る」から来ている、ということは聞いたことがあるかと思います。

楽器の練習もまさにそれだと僕は思っています。
実際にやっている人もたくさんいるかもしれませんが、CDや動画を見て、
憧れている奏者の演奏を真似てみたこと、ありますよね？

これ、ぜひ積極的にやってみてください！
そして、同じ人のいろいろな曲を真似てみるのもいいのですが、同じ曲で、
いろいろな人のマネで吹いてみることも、とてもいい勉強になると
思いますし、上達の助けになると思います。

マネをすると何がいいの？と思う人もいるかと思いますが、パッと思いつく
だけでも、以下のメリットがあると思います。

- ・フレーズの作り方
- ・ブレスの箇所（位置）のアイデア
- ・ブレスの取り方
- ・発音の種類
- ・楽譜に何も書いていないところでのアゴギグ（抑揚など）の付け方

これだけあると、やってみたほうが良いと思うでしょう？
最初はマネをやっていくだけでいいです。

次第に、自分でも気づかないくらいのところで、その人の奏法に近づいて
いますよ。

最後にアドバイスとしては、

最初からうまく真似できなくても心配しない！

最初からうまく真似ができるってことは、もうすでにあなたはかなりの
上級者です。

できない人は、毎回コツコツと少しずつでいいのでマネをしていけばいいんです。

最初から器用で上手にマネができる上級者の人は、自分の演奏スタイルとは
違う人の演奏も真似してみるといいですよ。

そうすることによって、自分の演奏の幅が広がっていくと思います。

最後に、本当に上手な人の演奏をマネしましょうね。
中途半端な演奏のマネをすると、変なクセがついてしまうかもしれませんので、
そのあたりは少し注意しましょう。

編集後記

先月号からの1ヶ月は、本当に怒涛の1ヶ月間でした。

でも、今思い返すといろいろなところでいろいろな人に助けていただき、すべてが上手く行ってホッとしています。

とっても忙しかったしキツかったけど、楽しかったな～。:D

そんなこんなで、未だ最高気温が36°C、最低気温が27°Cとか言っている9月半ばですが、気がつくと、もう今年も4ヶ月を切っています。

いつも精一杯頑張っているのも後悔していることとかはないのですが、寄り充実していけるよう、さらに工夫をして過ごしていきたいなあ、とは思っています。

リラックスする時間も確保したいしね。;)

高知で久しぶりに再会したKさんから、このメールマガジンで少し前まで毎月紹介していたYouTube動画について、できればまたやってほしい、という声をいただきました。:)

毎月、となると僕にとっても大変なので約束はしませんが、これから、1つでもいいものがあると、どこかで紹介していきたいと思っています（今月は宣言だけにしておきます。笑）。

次号では長袖を着ていますように（笑）。

阿部 竜之介(Pepe) オフィシャルウェブサイト

<http://www.pepeabe.com>

ご意見、感想、質問などはメールでどうぞ！

info@pepeabe.com

©阿部竜之介 『Pepeの視点』の配信停止はこちらから

<http://www.mag2.com/m/0001601194.html>